

お願い

この説明書は実際にご使用になられる方のお手元にも必ず届くようお取り計らいください。

屋外用ベル 取扱説明書

B D A - 1 5

B D D - 1 5

B D * - * * *

このたびは坂本電機製ベルをご採用いただきありがとうございます。
この説明書は、ベルの取扱い、保守について述べたものですから、
ご使用前にご熟読の上、据付け、保守、点検などに正しくご活用ください。

お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください

(株)坂本電機製作所

本社・和臼工場 〒811-0202 福岡市東区和臼3丁目27-55
TEL:(092)606-2731 FAX:(092)608-1984

津屋崎工場・器具営業 〒811-3304 福津市津屋崎7丁目23-40
TEL:(0940)72-4193 FAX:(0940)72-4197

大阪営業所 〒536-0022 大阪市城東区永田4丁目15-24
TEL:(06)6961-0084 FAX:(06)6961-0085

1、ご購入時の点検について

ご注文通りの製品が届きましたか。輸送中の振動、事故等で破損していないかご確認ください。

- (1) 輸送中に破損したところはないか。

外装、ゴングをご確認ください。

- (2) ご注文通りの製品かどうか、ご確認ください。

形式、定格等がご注文通りかをご確認ください。

万一、不具合なところがありましたらご注文先にご連絡ください。

2、保管について

- (1) 雨、水滴がかかる場所、じんあいが多い場所、有害なガスや液体がある場所、直射日光が当たる場所には保管しないでください。

(故障、性能低下の原因となります。)

- (2) 高温・高湿な場所や温度変化が激しい場所には保管しないでください。

(故障、性能低下の原因となります。また、梱包材料の強度低下により、運搬時に落下する恐れがあります。)

3、据付けについて

付図1, 2, 3をご参照ください。

- (1) 3カ所の取付穴をM6ねじで確実に締付けてください。

- (2) 屋外用に取付けられる場合は、雨水が溜まったり水路となるような場所を避けてください。

- (3) ゴングと打ち子の取扱いはできるだけ慎重に行ってください。僅かな変形で鳴動不良を発生する場合があります。

原則として、分解しないでくださいゴングを取り外さないようにしてください。もし、ゴングを外した場合は、位置決め用のスプリングピンとゴングの穴を合わせて取り付けてください(付図1)。

- (4) 屋外に設置される場合、浸水防止の為に、ケーブル引出口は下向きに取付けてください。

4、配線について

- (1) ベルからの口出線と電源側からの電線は、圧着スリーブで直接接続するか、丸形圧着端子を用いてねじで接続してください。接続が確実なことをご確認の上、電線以上の絶縁被覆と外装被覆を施してください(付図2)。

端子箱付きベルの場合は、絶縁付き圧着端子を用いて配線してください。

- (2) 端子箱付きベルの電線引出方法がパッキン式グラウンドの場合は、パッキン内径とケーブル仕上がり外径が適合していることをご確認ください。

- (3) 電源から遠い距離に設置される場合、電圧降下ができるだけ少ないように配慮してください。音量が低下する場合があります。

- (4) 外部の接地端子で必ず接地してください。

5、保守点検について

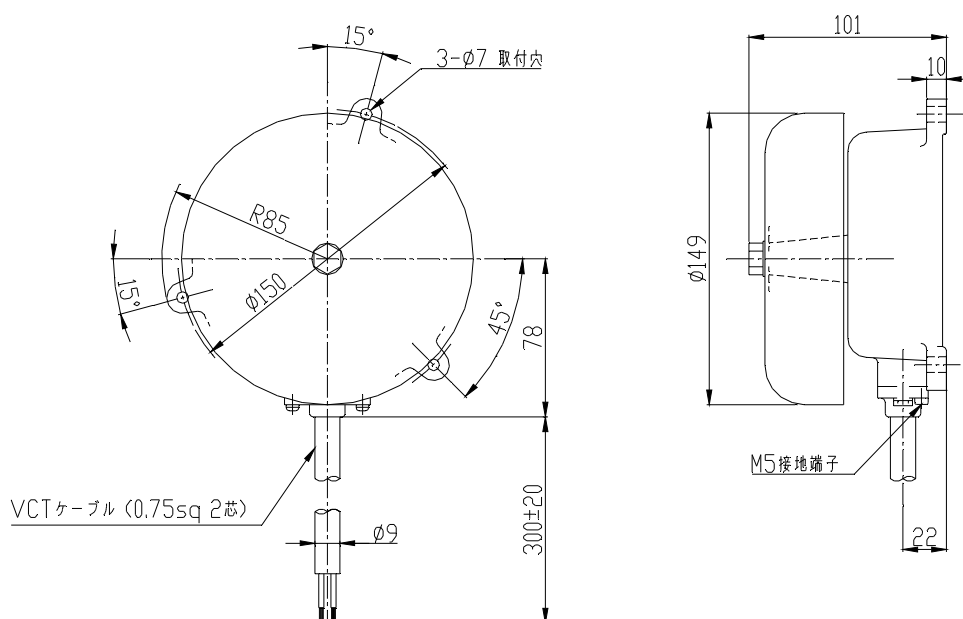
(1) 点検時期

使用頻度、使用条件、環境により点検時期は左右されますが、少なくとも1ヶ月毎に点検してください。

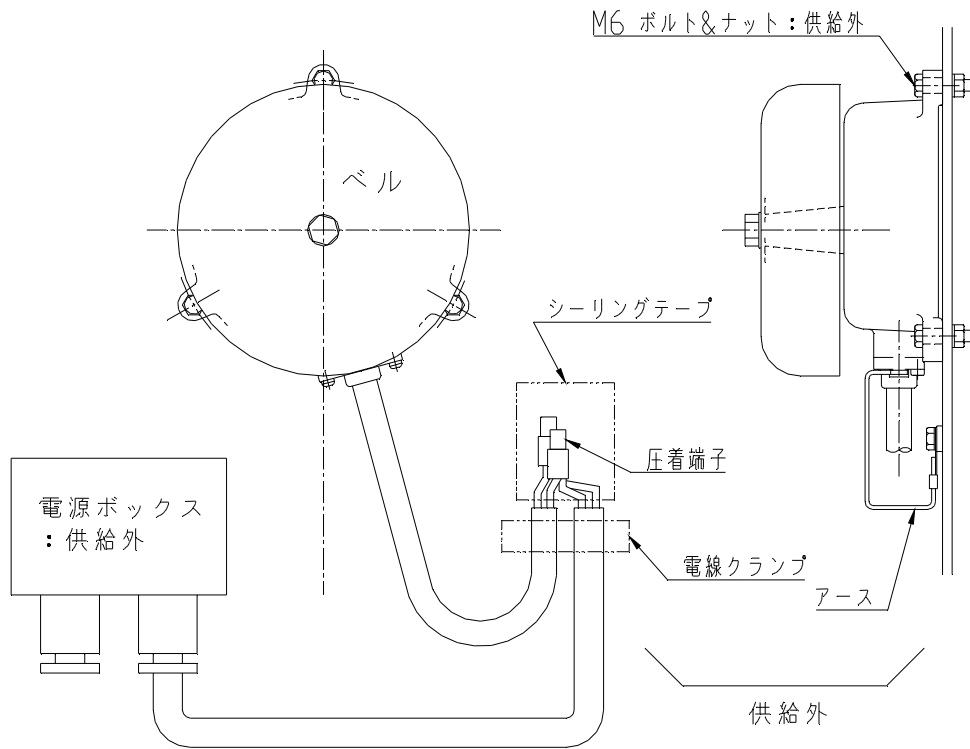
(2) 検査項目と処置方法

点検項目	処置方法	備考
外観の傷、凹み、変形、錆の有無	使用可か否かを判定し、不可か判定不能なら交換	
鳴動試験 鳴動すること 音色は正常	電源と接続の点検 電圧測定	
絶縁抵抗試験	電源側より測定、異常なら交換 電路検査	ベル本体は初期値 100Mohm 以上
取付ねじ	増し締め、緩み止め（固着剤）	
電線	損傷が在る場合、再配線	
端子ねじ、スイッチ取付ねじ	増し締め	
その他の使用者決定事項		

付図 1 標準形BDA、BDDの外形図



付図 2 標準形ベル (BD*-* *) の据付例



付図 3 端子箱付きベル (BD*-* * T*) の据付例

